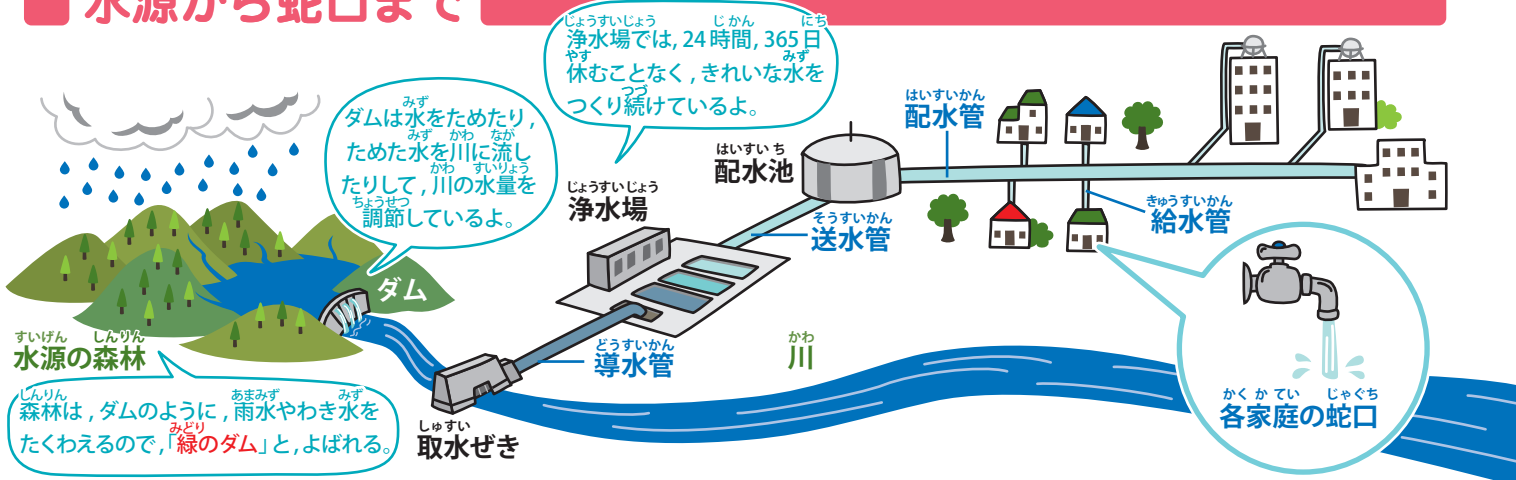


2月の学習ポスター

くらしの中の水

水道の蛇口をひねると、いつでもきれいな水が出てきます。この水は、どこから来るのでしょうか。また、使ったあとの汚れた水はどこへ行くのでしょうか。水について学習しましょう。

水源から蛇口まで



水道水のもととなる水は、大部分が川や、川をせき止めて作られたダムから取られています。ダムや川の上流には水源の森林があり、木の根によって土や砂をおさえ、雨水をたくわえる大切なはたらきをしています。

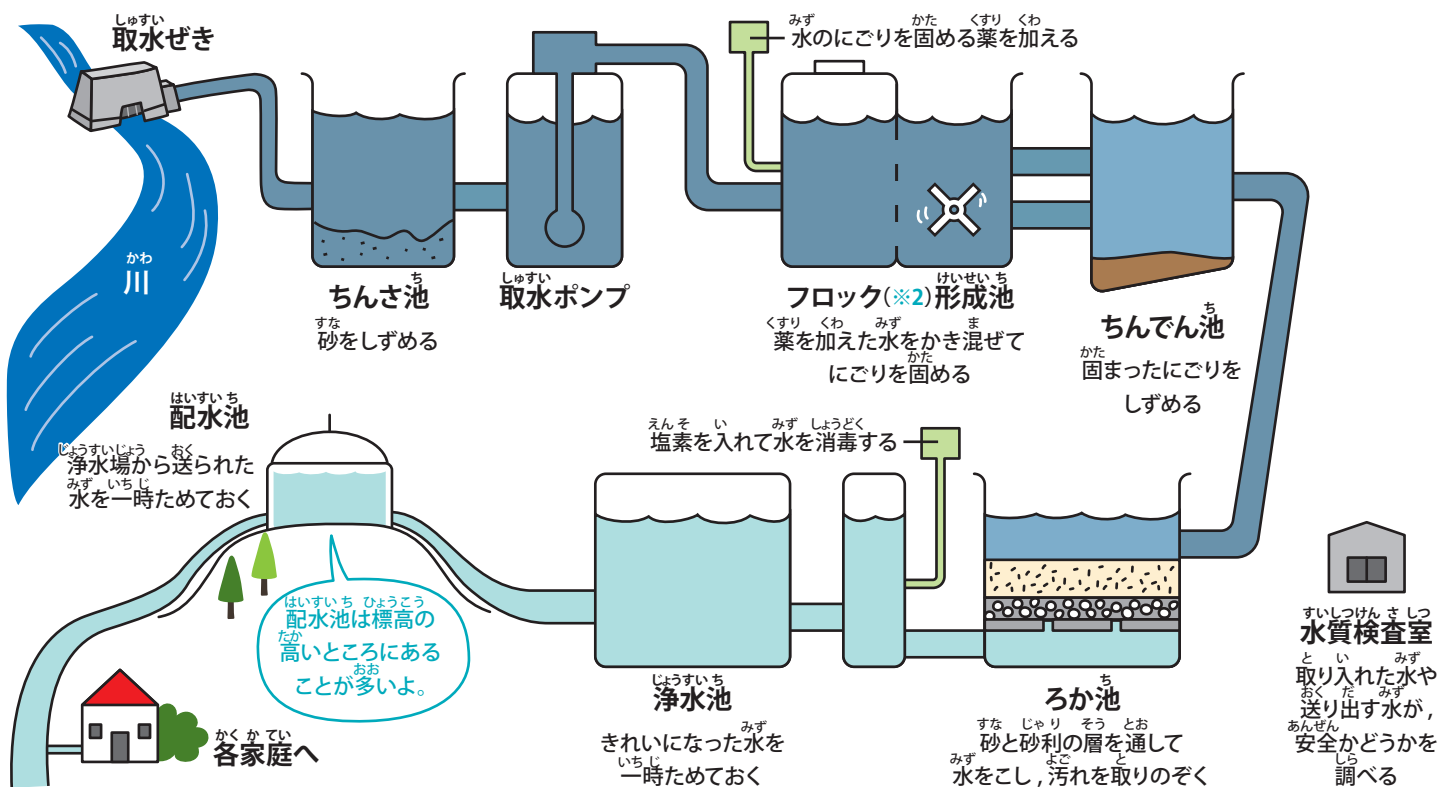
川やダムから取られた水は、浄水場に送られ、どろなどの汚れを取りのぞき、安心して飲むことのできるきれいな水にされます。浄水場できれいになった水は、配水池に一時ためられた後、配水管を通して各家庭の蛇口につながる給水管へと運ばれます。

水道の水をつくるには、たくさんの時間とお金がかかります。水をむだにしないよう、各家庭で節水(※1)を心がける必要があります。※1 節水…お風呂の残り湯を洗たくに使ったり、シャワーの時間を短くするなど、水のむだ使いをやめて節約すること。

浄水場のはたらき

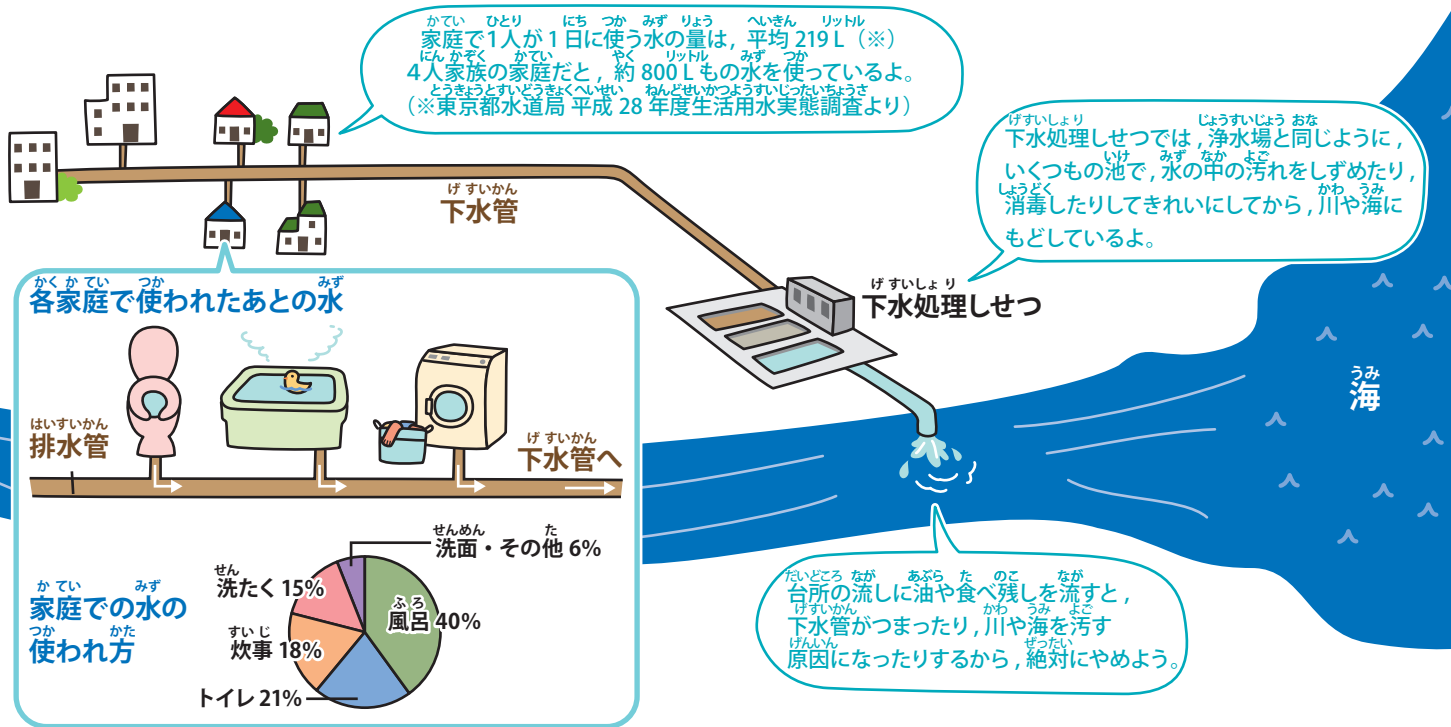
浄水場にはプールのような池がたくさん並んでいて、川などからとった水をだんだんときれいにしながら次の池へと送り、最終的には安心して飲むことのできる水にするしくみがあります。

※2 フロック…にごりを固めたもの。



使ったあとの水のゆくえ

各家庭の台所、お風呂、トイレ、洗面所、洗たくなどで使ったあとの水は、再び川にもどされ、海へと流れていきます。川や海が汚れるのを防ぐために、多くの地域では、使ったあとの汚れた水を下水管を通じて下水処理せつに集め、きれいにしてから川に流しています。



地球の水のじゅんかん

雨が降ると、その雨水は川になったり、地下水になったりして、やがて海へと流れていきます。海では、海水が蒸発して雲を作り、その雲がまた雨を降らせませす。このように、水はたえず地上と海と空とをまわっていて、このことを水のじゅんかんといいます。地球上の水を全部合わせた量は、大昔からほとんど変わっていません。

